

日本化粧品学会

第44回 教育セミナー プログラム

美しさの本質を考える

ご挨拶

今回のテーマはずばり『美しさ』です。医療の進歩により人生は長くなりました。しかし、人が生きていく上でこれから重要視しなければいけないのは、楽しんで暮らせる期間かと思えます。楽しんで生きるということは簡単に言うことはできますが、実は非常に難しいことです。健やかに過ごすことはもちろん大事です。そして、自身に誇りを持って生きることも必要と考えます。誇りという点で大事な要素の一つが美しさかと思えます。

現代社会では多様性が重要視され、様々な価値観が認められるようになってきました。美しさという概念についても、従来の考え方、捉え方とは変わってきているかもしれません。そこで、今一度、美しさとは何かを考え直すセミナーを企画致しました。

美しさとは何かという問いは非常に難しい質問ではありますが、様々な分野の先生方に登場して頂き、切り口を変えて、討論ができれば良いなと考えております。

立場、年齢、性に関係なく、一緒に討論できるテーマは少ないのですが、今回のテーマはそれが可能な内容です。それぞれの講師がご自身の考えを忌憚なく、お話し下さるかと思えます。

私自身も心待ちにしていたセミナーです。どうぞ一日お楽しみ下さい。

学術委員長 海老原 全

開催日：2019年10月25日(金)

会場：ヤクルトホール

* アクセスは最終ページの地図をご参照ください

〒105-8660 東京都港区東新橋 1-1-19 (TEL.03-3574-7255)

開場：9:30 開演：10:00

参加費：会員 15,000円 (予約 13,000円)

非会員 20,000円 (予約 18,000円)

学生会員 1,000円 (当日のみ・要旨集代金・要学生証提示)

学生非会員 2,000円 (当日のみ・要旨集代金・要学生証提示)

* ご所属が賛助会員の場合、個人会員と同じく15,000円(事前予約13,000円)でご参加頂けます。

* 参加費には要旨集代が含まれています。

日本香粧品学会 第44回教育セミナー プログラム

10:00～10:05 開会挨拶 委員長 海老原 全 (慶應義塾大)

10:05～10:50

1. 見た目とアンチエイジングの考え方

山田 秀和 (近畿大学アンチエイジングセンター)

10:50～11:35

2. しみしわのない肌を目指して (美容治療)

山下 理絵 (湘南藤沢形成外科クリニック R)

11:35～12:20

3. 日本の美女の変遷

白壁 征夫 (サフォクリニック)

12:20～13:35 — 昼休み (参加費に弁当代は含まれません) —

13:35～14:20

4. 美を美術解剖学的に考える

宮永 美知代 (東京藝術大)

14:20～15:05

5. 触感が心理と〇〇に与える好影響

仲谷 正史 (慶應義塾大)

15:05～15:30 — 休憩 —

15:30～16:15

6. 美しさと健やかさの心理学

阿部 恒之 (東北大)

16:15～17:00

7. 美容医療 new horizon—幹細胞への期待—

市橋 正光 (アーツ銀座クリニック)

17:00～17:05 閉会挨拶 副委員長 杉山 義宣 (花王)

POINTS OF INTEREST!

見た目とアンチエイジングの考え方

[山田 秀和 先生]

見た目は第4の資産として考えられるようになりその重要性は益々高まっている。その中で、老化との取り組みを考慮する時代が来た。アンチエイジングの治療薬が想定される中、見た目に対しても皮膚、容貌、体形を通して、理解が必要である。Precision medicine を利用した personal skin care などが重要となろう。このためには、epigenetic clock を始め一段進んだ取り組みが考えられる。

シミシワのない肌を目指して (美容治療)

[山下 理絵 先生]

できるだけ長い年月を元気に活躍したい、いつまでも若々しく美しくありたいという望みは誰もが持っている。皮膚の若返りの中で、最も多い主訴はシミ、次にシワ・タルミである。シミは疾患ごと、シワ、タルミは、原因(皮膚の弾力低下、皮下組織の減少、下垂、筋肉の委縮、非薄化、頭蓋骨の縮小、靭帯の弛緩)ごとの治療が必要である。いずれも最も重要なのは、予防であり紫外線ケアなどのスキンケアの上に美容医療は成り立っている。

日本の美女の変遷

[白壁 征夫 先生]

日本人美女を話す前に日本人顔貌の歴史を理解してもらおう。

縄文時代と弥生時代の埴輪の顔、江戸時の長州型、ベルツの薩摩型、ベルツの長州型の女性、さらに昭和初期の漢民族、朝鮮人、南方系の型、へとうつり現在の日本人の顔ができた。

これらの歴史上の日本人、特に今回の演題である日本人の美人を歴史的に分類すると

- 平安貴族文化時代の美人
- 町人文化の江戸期の美人
- 文明開化の明治期の美人
- 大正期の美人
- 戦後米国化の昭和期の美人
- 国際化した平成期の美人

に大別される。この中でも江戸後期から明治維新以降は写真として残されているので時間のある限り日本人美人を供覧する。

POINTS OF INTEREST!

美を美術解剖学から考える [宮永 美知代 先生]

描かれた顔には、陰影の中にある骨格的立体感を捉えようとする見方と、肌が地となり目鼻口眉などの顔面諸器官が図となり、そのかたち、色、配置に注目する見方と、大きく2つの見方があります。美は、地域社会で育まれ、「陰影と奥行」に美意識があるヨーロッパ絵画と、浮世絵に代表されるように「線描」に美意識がある日本(東アジア)が、19世紀以降緩やかに影響し合います。美術解剖学から人体の体幹部の美しさについて考えてみようと思います。

触感が心理と〇〇に与える好影響 [仲谷 正史 先生]

触れたときの印象は、化粧品を取り扱う際に誰しもが体験する。触れることは日常の中で意識されることの最も少ない感覚であるが、触感が生活の中でもたえず印象に与える影響は少なくない。本講演では、触感が心理にもたらす作用に加えて、思った以上に恩恵をうけている触れることの効用について、演者らが提案してきた「触楽入門」の観点から論じる。そして、化粧品における美しさの本質を触れることの射程からお話します。

美しさと健やかさの心理学 [阿部 恒之 先生]

人類史を俯瞰すると、美は健康を犠牲にしても求めるべき価値でした。いわば、美と健康は対立していたのです。しかし時代は移り、美は健康と共にあるもの、さらには、美は健康の延長線上にあるものと認識されるに至りました。さらに昨今、化粧療法の普及に伴い、化粧品の健康への寄与が注目されています。すなわち、美の延長線上に健康があるという、逆方向の認識です。美しさと健やかさの関係について、心理学的立場からお話したいと思います。

美容医療 new horizon—幹細胞への期待 [市橋 正光 先生]

皮膚の若返りをターゲットにしたレーザー治療、あるいはケミカルピーリングは一種の再生医療法といえる。つまり、加齢による皮膚老化、太陽光線で誘発された光老化皮膚組織の一部を除去、あるいは、軽微な損傷を与え、皮膚組織が本来持っている修復能で新しい皮膚を再生誘導する。近年注目される間葉系細胞は、損傷組織に存在する内因性細胞を活性化、あるいは必要な細胞に分化し、組織の機能を回復させると考えられている。本セミナーでは、脂肪幹細胞の持つ分化能、細胞が生成分泌する細胞外小胞が周辺組織に与える影響について最近の考え方を紹介する。

参加申込方法

日本化粧品学会 第44回教育セミナー

参加申込事前予約締切：2019年9月18日(水)

学会ホームページ(<http://www.jcss.jp/>)にて

- * 9月19日(木)以降は当日受付でお申込みください。
- * 予約申込で入金が確認された方には参加証及び要旨集を10月上旬に送付する予定です。
- * 一旦払い込まれた予約参加費は払い戻しできませんのでご注意ください。

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

TEL. 03-6824-9367

FAX. 03-5227-8632

E-mail. jcs-semi@bunken.co.jp

■ ヤクルトホールへのアクセスマップ



- JR 新橋駅「銀座口」より徒歩3分
- 都営浅草線 新橋駅「汐留1番出口」より徒歩1分
- 新交通ゆりかもめ 新橋駅 徒歩3分
- 東京メトロ銀座線 新橋駅「2番出口」より徒歩2分
- 都営大江戸線 汐留駅 徒歩5分